

ゆきあかりの会 お知らせ No.7

2006年12月15日



《ゆきあかりの会》にご参加くださった皆様へ

2006年も残りわずかですね。

12月に入って急に寒さが厳しくなってきましたね。それでも・・・例年に比べると暖冬とのことですが・・・。

世の中は“クリスマス一色”の雰囲気、街中は華やかな彩りに溢れていますが、でも、きっと皆様のお心は周囲が明るくなればなるほど、おつらいお気持ちが一層深まっていってしまうのではないのでしょうか？

中には、幸せそうなご夫婦連れや家族連れを見るたびに、悲しみや寂しさが深まり、うらやましさを乗り越えて、『妬み』や『怒り』も感じられる方もおいでになるかもしれません。

そして、このようなご自分に戸惑ったり、恥じたり、ご自分を責めてしまったり・・・なさっていませんか？

愛する人を亡くされた方がこのような気持ちを持つことは、ごくごく当たり前で正常なことです。

深い悲しみを表す、ごくごく自然な方法の一つです。

ですから、ご自分を責めたり、恥じたりなさらないで、また、ご自分のお気持ちを否定したり、抑え込んだりなさらないで、どうぞ自然な思いを大事になさってくださいね。



★「望年茶話会」を24日に開催します♪

＜お知らせNo.6＞でもお知らせしましたが、下記の要領で《望年茶話会》を行います！！

望年茶話会は「分かち合いの集い」ではありませんので、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

《ゆきあかりの会》の集いに今までご参加くださった皆様が、年末の忙しい時間の中で、悲しみや寂しさを抱えながらも出会い、お菓子や飲み物などと共に交流を深め、“穏やかで温かなひととき”を共に過ごすことを目的にしています。

1. 開催日時 12月24日(日)13:30～遅くとも16時には終わります(受付:13:15～)
2. 開催場所 日本福祉大学名古屋キャンパス北館6階 6A教室
3. 参加費 お一人2000円 当日、会場の受付でお支払いください。
4. 申込期限 ご参加希望の方は、12月20日(水)までにお申込ください。
5. 申込先 事務局 ☎ 090-3909-4515(近藤浩子宛て)

FAX 020-4669-4206 e-mail yukiakarinokai@yahoo.co.jp

ご参加くださる方へのお願い！！

- (1)お菓子類や飲み物は事務局でご用意申し上げますが、もし、もし皆様のご自宅に、望年茶話会に提供可能なお菓子類やスナック類などがありましたら、当日、ご持参くださると、**とっても**嬉しいです。
- (2)ご参加くださる方は、お一人 **300円までの“プレゼント”**をご持参くださればと思います。当日、参加者の皆さんでプレゼント交換をしたいと思います。
- (3)当日、望年茶話会の中で、手品とか歌とか・・・、余興のご出演をなさってください方を**大募集！！**

クリスマス当日の開催ですが、皆様のご参加を心よりお待ちしております。



★今年度の《ゆきあかりの会》集いの日程です。

☆第6回ゆきあかりの会

日時：2007年 **1**月 **7**日(日)13:00～16:00(受付12:45～)

会場：日本福祉大学名古屋キャンパス北館6階6A教室

☆第7回ゆきあかりの会

日時：2007年 **3**月 **4**日(日)13:00～16:00(受付12:45～)

会場：日本福祉大学名古屋キャンパス北館6階6A教室

【ご参加のお申し込み方法】

- ①ご参加のお申し込みは、それぞれの日程の**2日前(金曜日)までに**、事務局宛てにお申し込みください。
- ② 参加費はお一人1000円です。当日、会場の受付でお支払いください。

【お申し込み先】

ゆきあかりの会 事務局 代表 近藤浩子

☎ 090-3909-4515

FAX 020-4669-4206

e-mail yukiakarinokai@yahoo.co.jp



★《グリーンケアラジオ 百万粒の涙を流そう》の12月放送予定内容

《ゆきあかりの会》が名古屋シティFM ラジオ局(通称;SHANANA! FM)から、毎週日曜日の夜 19時30分から15分間提供しています、「グリーンケアラジオ 百万粒の涙を流そう」の12月放送内容(一部、予定を含む)をご紹介します。

＜SHANANA! FM＞はコミュニティFMである為に出力が弱く、屋内では明瞭に聴取できない可能性があります。ラジオ以外からの聴取方法としては、大阪有線放送とスターキャットテレビがあります。

スターキャットテレビで明瞭にこの番組を聴取できる方法を、番組の聴取者のお一人で、ブログ「[いつだって-息子と生きる日々-](#)」の作者である“hahagokoro”さんが、とても分かりやすく写真解説付きでご紹介くださっています。

また、京都のコミュニティFM ラジオ局である＜京都三条ラジオカフェ＞が、屋内で番組を明瞭に受信できるように改善する為の方法を、いくつかご紹介しています。

その方法は共に、《ゆきあかりの会》のホームページにリンクしていますので、どうぞご覧ください。

《ゆきあかりの会》ホームページ <http://www.geocities.jp/yukiakarinoai/>

グリーンケアラジオ「百万粒の涙を流そう」の12月分放送内容一覧表

放送回数	放送日	＜グリーンケア宅配便＞コーナー	＜グリーンシアター＞コーナー	＜お知らせ＞コーナー
No.14	3日	遺族の集い紹介⑥ 「リメンバー名古屋自死遺族の会」	「愛と死と歌-死をみつめて-」 西川なつ子・作	・生と死を考える会
No.15	10日	「記念日反応について」	「愛と死と歌-逝きたるのちに-」 西川なつ子・作	—
No.16	17日	「死別の悲嘆における『怒り』という感情について」	「おぼえている？」 那須田淳・訳	・ゆきあかりの会
No.17	24日	相談機関の紹介① 「ひだまりホットライン」	「おぼえていてねーアーカイブ 星ものがたり-」市川拓司・作	・ひだまりホットライン
No.18	31日	「遺品の整理について」	未定	・ゆきあかりの会

* あくまで＜予定＞ですので、諸事情により変更がある場合もありますので、何卒ご了承ください。



★素敵な絵本のご紹介No.5

『きみとぼく』 たさくしょうこ/作 新風社 2006年 ¥1,400+税

この本は、2003年に53歳で病死した藍染め作家のたさくしょうこが、1993年に45歳で病死した、木工作家の夫との深い愛を綴った絵本です。

全ページ藍染の濃淡で描かれた絵でできていて、とても優しく温かさに満ちた絵本です。

「いつまでも いつまでも…きみとぼく」と最後に記されていますが、二人共、最早この世から去って

いるだけに、この言葉がとても切なく、もの哀しく、心がキュンとしてしましますが、でも不思議と温かさに心が満たされる絵本です。

詩も素敵ですが、藍染の作品で描かれた優しい優しい絵が本当に素敵です。

絵を眺めるだけでも、心が本当に癒されます…。

★ 《ゆきあかりの会》では、皆さんから、〈お知らせ〉に載せたいニュースや、亡くなった愛する人の思いを綴った作品等の投稿も随時募集しています。

この『お知らせ』の配布先は、ゆきあかりの会の集いにご参加くださったご遺族の皆さんです。

そして、《ゆきあかりの会》のホームページでも掲載しています。



いよいよ今年も残り僅かとなり、皆さんのお心の中では様々な思いが巡っていらっしやることと思います。

私は、《ゆきあかりの会》の集いや臨床心理士の仕事の中で、多くの愛する人を亡くされた方と出会い、お話を聴かせて頂いています。

そして、ご遺族の皆様から亡くなられた方の人生や、その方への思いをお聴きするたびに、私は一度もお会いしたことがないのに、とてもその方のことが身近に感じられ、心の中に温かいものが流れ始め、そして、私の心の中にその方が“生き始めて”いきます。ご遺族の方が私にお話をなさってくださることで、私の心の中に、その方が私と共に生き始めていくのを感じています。

きっと、《ゆきあかりの会》の分ちあいの集いでも、その場にいらっしやる皆様と同じことが起こっているのではないかなあ〜って思います。

愛する人はもうこの世にはいません。二度とこの世では会えないし、話もできない。抱きしめることもできません。

でも、自分が思い続け、語り続けていくことによって、自分の心の中だけではなくて、語っていく相手の心の中にも、愛する人が生き続けていくと私は感じていますし、また、《ゆきあかりの会》の分ちあいの集いにも、きっとこのような大切な意味があるんだろうなあ〜と、心の底から感じています。

来年からも、分ちあいの集いを大切に大切にしていきながら、多くのご遺族の方々、そして、亡くなられた方にも出会っていきたいと思っています。

今年1年間ありがとうございました。来年もよろしく願い申し上げます。

大切な人を亡くした方の集い《ゆきあかりの会》代表 近藤浩子

